



図書館だより

NO.9

丸亀市立綾歌中学校 平成30年 2月号



2月4日は立春ですね。旧暦では「立春」の日を迎えると、“冬が終わり春になって1年が始まる”と考えられていました。新しい年を迎える前に邪気を払う行事が節分の豆まきの始まりだそうです。

2月は1年で一番寒い時期ですが、木の芽や花のつぼみが膨らみ始め、春に近づいていきます。春はもうすぐです！

平昌オリンピック・パラリンピック開催



第23回冬季オリンピック大会は、9日～25日までの17日間、韓国の平昌のほか、旌善、江陵3都市で競技別に開催されます。7競技102種目が行われ、冬季オリンピック史上初、金メダルの数が100を超える大会となります。今回新種目としてスピードスケートの男女マススタートやカーリングの混合ダブルスなどの6種目が採用されました。冬季パラリンピック大会は3月9日～18日の10日間、6競技80種目が行われます。

今月の風物詩

春一番

春を告げる風と言われる「春一番」は、立春から春分までの間に、初めて吹く暖かい南寄りの強い風のことを言います。

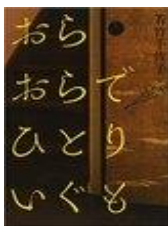


第158回芥川賞・直木賞受賞作品決定！

2017年度下半期となる第158回芥川賞・直木賞受賞作品が1月16日に発表されました。芥川賞は、史上2番目の年長受賞となる若竹千佐子さんの『おらおらでひとりいぐも』、石井遊佳さんの『百年泥』、直木賞は門井慶喜さんの『銀河鉄道の父』に決定しました。

《芥川賞》

若竹千佐子 『おらおらでひとりいぐも』



24歳の秋、東京オリンピックのファンファーレに押し出されるように故郷を飛び出した桃子さん。周造と出会って結婚し、二人の子供を育て、今は一人で暮らしています。74歳の桃子さんはある時から心の声が聞こえるようになりました。自分の人生を振り返り、向き合っていく様子を東北弁で快活に表した作品です。

《芥川賞》

石井遊佳 『百年泥』



インドのチェンナイで日本語教師をしている主人公の女性は、ある日「百年に一度」といわれる大洪水に見舞われます。

洪水の後、堆積した泥の中から様々なものが掘り出されます。その品々にまつわる出来事を追体験していくストーリーです。

《直木賞》

門井慶喜『銀河鉄道の父』



詩人で童話作家の宮沢賢治の人生を、父・政次郎の視点で描いた作品。花巻で質屋を営む政次郎は働き者で家族愛に満ちた人物でした。賢治は質屋を継ぐことを拒否し、事業を起こそうとしたり、空想的なことに想いをはせます。政次郎は、病弱な賢治の将来を心配しながらも、そんな賢治を深い愛で包み続けます。



〈単行本〉

論理的思考力を鍛える 33の思考実験	北村良子	有名な実験やクイズ形式によって、思考を鍛える入門書。特定の条件の下で考えを深め、頭の中で推論を重ねながら自分なりの結論を導き出していきます。
ヒット商品研究所へ ようこそ	こうやまのりお	ヒット商品はどうやってできるのでしょうか？アイス「ガリガリ君」、速く走れる靴「瞬足」、ベストセラー「青い鳥文庫」をピックアップし、それぞれの商品が生み出された背景を紹介していきます。

〈文庫本〉

DESTINY 鎌倉ものがたり (映画ノベライズ版)	(原作) 西岸良平 (ノベライズ) 蒔田陽平	鎌倉では人間も幽霊も魔物も神様も仏様も仲良く暮らしています。そんな鎌倉で、ミステリー作家・一色正和と亜紀子は新婚生活を送っていましたが、ある日突然亜紀子が姿を消してしまいます。正和は亜紀子を探して黄泉の国へと出発します。
8年越しの花嫁 奇跡の実話 (映画ノベライズ版)	(脚本) 岡田恵和 (ノベライズ) 国井桂	結婚を約束した尚志と麻衣。結婚式を間近に控えたある日、原因不明の病が突然麻衣を襲い、意識不明となってしまいます。尚志は麻衣のそばで回復を祈り続けるのですが、その年月はあまりに長いものでした。
カゲロウデイズⅧ	じん	敵を前に、倒れていくメカクシ団のメンバー達。アザミが敵の動きを止めている隙をついて、残るメンバーが封じ込めるための作戦を立てます。シリーズ最終巻。
文豪ストレイドッグス	朝霧カフカ	危険な依頼を専門とする“武装探偵社”に勤める文豪の面々が、異能力を発揮しながら事件を解決していきます。